※令和８年度以降入学生用

| 学校番号 | ３２６ |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史探究 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校世界史（山川出版） | | | | | | |
| 副教材等 | アカデミア世界史デジタル版（浜島書店） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近世ヨーロッパから今日までの世界の歴史を学習します。プリント学習だけでなく、主体的に学ぶことができるようタブレット端末を使用した調べ学習、ディスカッションなどを行ってもらいます。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2)　世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3)　世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和８年度以降入学生用

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 近世ヨーロッパ世界の動向 | ①ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。<br>②ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。<br>①それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。<br>②カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解する。<br>③カトリック改革が持つ世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。<br>①主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。<br>③アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。<br>①17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現す | A:ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。<br>B:美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br>A:新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。<br>B:「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br>A:主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。<br>B:ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ・定期テスト<br>・小テスト | ・定期テスト(資料読解・論述問題)<br>・授業プリント<br>・調べ学習<br>・発表 | ・討論や発表<br>・授業プリント<br>・調べ学習 |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | る。<br>②17 世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。<br>③近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④イギリスとフランスの覇権争いがグローバルな戦いになった背景を理解する。<br><br>①主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解する。<br>②ロシアが主権国家体制に参入していった経緯を理解する。<br>③プロイセンとオーストリアの関係の推移を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④啓蒙専制主義の特徴を理解する。<br><br>①科学革命の成果について、自然法則の発見以外にも着目して理解する。<br>②科学革命がヨーロッパ人に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③従来の学知の展開と比較したうえで、「実用の学」としての啓蒙思想の意義を理解する。 | A:オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。<br>B:覇権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br><br>A:北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。<br>B:ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:北欧・東欧の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br><br>A:科学革命と呼ばれる一連の変化がどのような背景で起こったのかを理解している。<br>B:ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 産業革命と環大西洋革命 | ①海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。<br>②イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③16 世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。 | A:産業革命が 18 世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。<br>B:当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ・定期テスト<br>・小テスト | ・定期テスト(資料読解・論述問題)<br>・授業プリント<br>・調べ学習<br>・発表 | ・討論や発表<br>・授業プリント<br>・調べ学習 |
| | | ①北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。<br>②独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。<br>③アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 | A:アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。<br>B:アメリカ独立宣言や「権利の章典」（第 11 章４節）などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |
| | | ①革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。<br>②人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。<br>②ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 | A:フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。<br>B:「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | イギリスの優位と欧米国民国家の形成 | ①ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。<br>②ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③19 世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。<br>④イギリス・フランス・ドイツにおける社会主義思想をそれぞれ比較したうえで理解する。<br>⑤1848 年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。<br><br>①クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解する。<br>②19 世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。<br>③ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。<br>④ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現している。<br>⑤北欧諸国の安定性について、周辺諸国と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑥19 世紀後半にさまざまな国際運動が進展した背景を理解する。<br><br>①領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。<br>③アメリカ合衆国の歴史にお | A:19 世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や 1848 年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。<br>B:ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br><br>A:19 世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。<br>B:鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19 世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:19 世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br><br>A:南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。<br>B:アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、ア | ・定期テスト<br>・小テスト | ・定期テスト(資料読解・論述問題)<br>・授業プリント<br>・調べ学習<br>・発表 | ・討論や発表<br>・授業プリント<br>・調べ学習 |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | いて移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現する。 | メリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |
| | | ①19 世紀欧米文化における担い手や展開された場(空間)の推移を理解する。<br>②国民文化と国民国家形成との関係を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。<br>④大都市文化が都市の景観に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 | A:19 世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。<br>B:19 世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:19 世紀欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | アジア諸地域の動揺 | ①オスマン帝国の動揺の要因を多面的･多角的に考察し表現する。<br>②オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯を理解する。<br>③オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。<br>④ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を多面的･多角的に考察し表現する。 | A:オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。<br>B:マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的･多角的に考察し表現している。<br>C:西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ・定期テスト<br>・小テスト | ・定期テスト(資料読解・論述問題)<br>・授業プリント<br>・調べ学習<br>・発表 | ・討論や発表<br>・授業プリント<br>・調べ学習 |
| | | ①ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解する。<br>②イギリス東インド会社の機能の変化を多面的･多角的に考察し表現する。<br>③東インド会社の統治と比較したうえで、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。<br>④東南アジアの植民地化の経緯を理解する。<br>⑤タイが植民地化されなかった要因を多面的･多角的に考察し表現する。 | A:ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。<br>B:東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:南アジア･東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |
| | | ①清朝の危機の要因を多面的･多角的に考察し表現する。<br>②中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解する。<br>③清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。<br>④東アジア各地の開港および貿易の拡大がもたらした影響を理解する。 | A:欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。<br>B:文字資料「マカートニーの1794年１月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的･多角的に考察し表現している。<br>C:東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ⑤欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的･多角的に考察し表現する。 | してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 帝国主義とアジアの民族運動 | ①新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解する。<br>②帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。<br>④この時期に国際労働運動が再燃した背景とその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 | A:第２次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。<br>B:国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:第２次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ・定期テスト<br>・小テスト | ・定期テスト(資料読解・論述問題)<br>・授業プリント<br>・調べ学習<br>・発表 | ・討論や発表<br>・授業プリント<br>・調べ学習 |
| | | ①列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。<br>③独立後のブラジル・アルゼンチン・メキシコがたどった道を比較し、共通点と相違点を理解する。<br>④20 世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。 | A:列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。<br>B:列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |
| | | ①日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因を理解する。<br>③インドにおける民族運動の社会的背景を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④東南アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。<br>⑤西アジア各地における民族運動の共通点を理解する。 | A:アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。<br>B:アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第一次世界大戦と世界の変容 | ①バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。<br>②歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③戦時外交および総力戦の特徴を理解する。<br>④第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑤ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 | A:第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。<br>B:塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ・定期テスト<br>・小テスト | ・定期テスト(資料読解・論述問題)<br>・授業プリント<br>・調べ学習<br>・発表 | ・討論や発表<br>・授業プリント<br>・調べ学習 |
| | | ①第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。<br>②西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③国際協調をめぐる 1920 年代の前半と後半の変化を理解する。<br>④イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑤東欧・バルカン半島の新興国が直面した困難と、それに対応すべく築かれた体制を理解する。<br>⑥1920 年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。 | A:第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。<br>B:各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |
| | | ①第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を多 | A:第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。<br>B:民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジ | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 面的･多角的に考察し表現する。<br>③南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。<br>④第一次世界大戦後のインド･東南アジア･アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。<br>⑤第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解する。 | ア･アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的･多角的に考察し表現している。<br>C:アジア･アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味･関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 | ①世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。<br>③ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。<br>④ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解する。<br>⑤日本と中国が全面戦争へいたった背景を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑥ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 | A:世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。<br>B:政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や㊧介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ・定期テスト<br>・小テスト | ・定期テスト(資料読解・論述問題)<br>・授業プリント<br>・調べ学習<br>・発表 | ・討論や発表<br>・授業プリント<br>・調べ学習 |
| | | ①開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。<br>③独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。<br>⑤第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 | A:第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。<br>B:戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |
| | | ①戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。<br>②冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。 | A:第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。<br>B:各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ③国民党が共産党に敗れた原因を多面的･多角的に考察し表現する。<br>④朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響を多面的･多角的に考察し表現する。<br>⑤東南アジアおよび南アジアの独立の背景や経緯を理解する。<br>⑥現代の中東問題の要因を多面的･多角的に考察し表現する。 | 領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的･多角的に考察し表現している。<br>C:第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 冷戦と第三世界の台頭 | ①米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。<br>②冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。<br>④スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現する。 | A:冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。<br>B:先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ・定期テスト<br>・小テスト | ・定期テスト(資料読解・論述問題)<br>・授業プリント<br>・調べ学習<br>・発表 | ・討論や発表<br>・授業プリント<br>・調べ学習 |
| | | ①自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。<br>②アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。<br>③キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を理解する。 | A:冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。<br>B:当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第２次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |
| | | ①国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。<br>②1960 年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。<br>④ソ連のスターリン批判が中 | A:ベトナム戦争をはじめとする 1960 年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。<br>B:1960 年代の各地の様子を写した図像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:冷戦体制の動揺について、自分 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 国へ与えた影響を理解する。<br>⑤第三世界における開発独裁の特徴を多面的･多角的に考察し表現する。 | が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | | | |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 冷戦の終結と今日の世界 | ①経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②1970 年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。<br>③オイル＝ショックが各国の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④1960～1970 年代の中東における変容の経緯を理解する。<br>⑤1970～1980 年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解する。<br><br>①1970 年代後半から80 年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。<br>②ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。<br>④ゴルバチョフの改革が挫折した原因を多面的・多角的に考察し表現する。<br><br>①旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。<br>②冷戦終結後の東アジア諸国の変化を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③今日の東南アジア・南アジア諸国においていかなる政治的・経済的変化が生じているのかを理解する。<br>④冷戦終結後のアフリカが有する課題と可能性を多面的・多角的に考察し表現する。 | A:1960～1980 年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。<br>B:原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:オイル＝ショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br><br>A:冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。<br>B:1990 年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br><br>A:冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。<br>B:各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。<br>C:今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学 | ・定期テスト<br>・小テスト | ・定期テスト(資料読解・論述問題)<br>・授業プリント<br>・調べ学習<br>・発表 | ・討論や発表<br>・授業プリント<br>・調べ学習 |

※令和８年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ⑤冷戦終結後も続く地域・民族紛争の背景や経緯を理解する。<br>⑥経済における世界の一体化の経緯を理解する。<br>⑦21 世紀初めにアメリカ合衆国がおこなった戦争の背景や経緯を理解する。<br>⑧今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察し表現する。 | 習に取り組もうとしている。 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度